



赤い羽根共同募金

ご協力よろしく申し上げます

赤い羽根共同募金

じぶんの町を良くするしくみ。



赤い羽根若者向けプロジェクト作品：静岡県立浜松工業高等学校デザイン科 鳥山もえさん

赤い羽根の歴史

昭和22年に「国民たすけあい運動」として始まり今年で79回目を迎える全国的なたすけあい運動です。運動期間は毎年10月1日から翌年3月31日までの6ヶ月間、全国一斉に行われます。



じぶんの町を良くするしくみ

共同募金運動は、社会福祉法に基づき都道府県を単位として行われ、寄付金は、その都道府県内でさまざまな地域福祉課題を解決するために役立てられます。※各市町の助成事業の詳細は裏面をご覧ください。

なぜ目標額があるのか？

福祉団体等からの申請を受け、必要性や緊急性を考慮し、寄付者の方々に納得いただけるような助成計画を立て、その計画額を目標額として募金活動と呼び掛けるためです。

【令和7年度募金目標額(県全体)】
→5億1,000万円

福祉のまちづくりに

県内では令和6年度までの78年間に総額329億円の寄付をいただきました。これにより地域を取り巻くさまざまな福祉課題の解決に取り組む民間福祉活動を資金面で支え、福祉のまちづくりに貢献しています。

寄付する人も募る人もボランティア

「寄付すること」「募金活動に参加すること」は、じぶんの町の福祉を推進するボランティア活動です。自治会・町内会、民生委員・児童委員、会社や学校関係者などの皆様によりさまざまな場所で募金運動が展開されています。

災害時の被災者復興支援

地震や大雨など災害時に災害ボランティアセンターの設置・運営を支えます。令和6年6月の沼津市大雨災害はもちろん、地震と大雨災害の能登半島地域では引き続き被災者支援に役立てています。



税制優遇

赤い羽根共同募金へのご寄付には税制優遇措置が受けられます

個人のご寄付

所得税の所得控除または税額控除、住民税の税額控除

法人のご寄付

法人税の「全額損金」算入



あなたの町の使いみちは裏面をご覧ください。

“赤い羽根”は熱海市の福祉のために使われ、地域のみなさまの笑顔につながっています。

熱海市のイチオシ事業!! “赤い羽根” 多世代食堂事業



- ・世代間の交流が減っている
- ・「子ども食堂」＝「地域の交流拠点」ということが知られていない。



- ・共同募金を活用して「だれでも食堂」を開催！地域の人々が集まり昔あそびや食事を楽しんだ。



- ・「子ども食堂」＝だれもが立ち寄れる場所ということが広まり、世代間の交流が盛んになる。

～ほかにもいろいろ、“赤い羽根” 共同募金の使いみち～



車いすは、移動が困難な方の外出や小中学生の福祉教育のために年間約50回貸し出しています。「赤い羽根共同募金」を活用し、皆さまが安心安全に外出できるよう定期的に点検をしています。



泉小中学校の
児童・生徒さんが
“共同募金クイズ”を
作ってくれました！



せんぷうしんぶん
「泉風新聞」より

クイズ1「赤い羽根共同募金」の羽根はどうして赤色なの？

一赤には、^{あか}勇気と^{ゆうき}善い行いという^よ意味があるから^{おこな}だそうです。

クイズ2「赤い羽根共同募金」で集められたお金はどこへ行くの？

一同じ都道府県で、子どもたち、^{おな}高齢者、^{どう}障がい者などを^{ふけん}支援するさまざまな^こ福祉活動や^{こうれいしや}災害支援などに^{しょう}役立てられる^{しや}そうです。

詳しくは、HP「赤い羽根共同募金会」→“知る・調べる”→

“赤い羽根キッズクラブ”に載っています。



目標額

地域の福祉課題を解決するために必要な「目標額」をたてました。

令和7年度募金目標額（お願い）

3,112,000円

内訳

“赤い羽根”一般募金	2,110,000円
地域歳末たすけあい募金	1,002,000円

熱海市共同募金委員会（熱海市社会福祉協議会）

【事務局】〒413-0015 熱海市中央町1-26 福祉センター2階
電話 0557-86-6339 FAX 0557-86-6341



ネットで寄付する